

みなと赤十字病院が導入

# 「個別ぜんそく予報」開始へ

公明党横浜市会議員団

仁田まさとし

## 中学校昼食「ハマ弁」実施

2016年第1回市定

かりました。

ます。

公明党が1995年から

例会が3月25日まで行われ、予算案が可決、成立しました。

現在、同センター受診者の約3割がぜんそく患者です。ぜんそく患者から呼吸機能の測定結果を病院にメール送信し、主治医が対処法を送信するという遠隔医療を行っています。また、

実施案を検討し、98年に初めて提案したスクールランチが、栄養バランスのとれた温もりのある中学校昼食「ハマ弁」として、16年度中に全市立中学校146校でスタートします。

この定例会では、局別の審査があり、私は医療局・医療局病院経営本部関係の審査で質疑を行いました。

機能の測定結果を病院にメール送信し、主治医が対処法を送信するという遠隔医療を行っています。また、

紹介動画のネット配信や生徒から献立を募集することを検討しています。

質疑の中でみなと赤十字病院アレルギーセンターで16年度から「個別ぜんそく予報」が導入されること

個別に予報を出す方法は、世界的にも珍しい試みだそうです。

生活支援の専門員

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

16年度から市は地域包括ケアシステムの構築を目指し、各地域ケアプラザなどに新たに「生活支援コーディネート」(仮称)を157人配置します。コーディネートは高齢者を支えるサービスを提供する既存の団体などと連携し、生活支援・介護予防策の充実を目指します。

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

私は今後もアレルギー疾患対策、喜ばれる中学校昼食、地域包括支援システム

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。

報」が導入されること

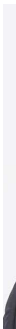
これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。

報」が導入されること

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床

の推進に取り組みます。



### 仁田まさとし プロフィール

- 水道・交通委員会
- 基地対策特別委員会
- ◇施政方針は「動く、創る、変える。」
- ホームページ <http://www.nitta-m.jp/>
- f 情報発信中

これまで、公明党横浜市会議員団は、アレルギー疾患対策の推進を図ってきました。特に10年前のみなと赤十字病院へのアレルギーセンター設置に際し、専門医の確保や研究機関との緊密な連携による最新の臨床